

デジタルカメラの写真を120%活用できるパソコンは？

ここでは、デジタルカメラの写真を120%活用できるパソコンを紹介しましょう。これからパソコンを用意する人は、ここで説明することを参考にしてください。また、すでにパソコンを持っている人は、ここで説明することを参考に、それでいいのかを確認してください。



CPUのこと

パソコンの中には、CPU(シーピーユー)という小さな装置が入っています。これがパソコンの中心部分となり、頭脳にあたります。このCPUは、最近ではCeleron(セレロン) Pentium (ペンティアム スリー) Pentium4というように発展してきました。CPUの動作速度が遅いと、デジタルカメラの写真が画面上に遅く表示され、加工に手間取ります。

したがって、少なくともPentium 以上の高速のCPUが入ったパソコンを選びましょう。なお、Pentium やPentium4は米国のインテル社が開発したものです。これ以外のCPUについてはHELPを参照してください。



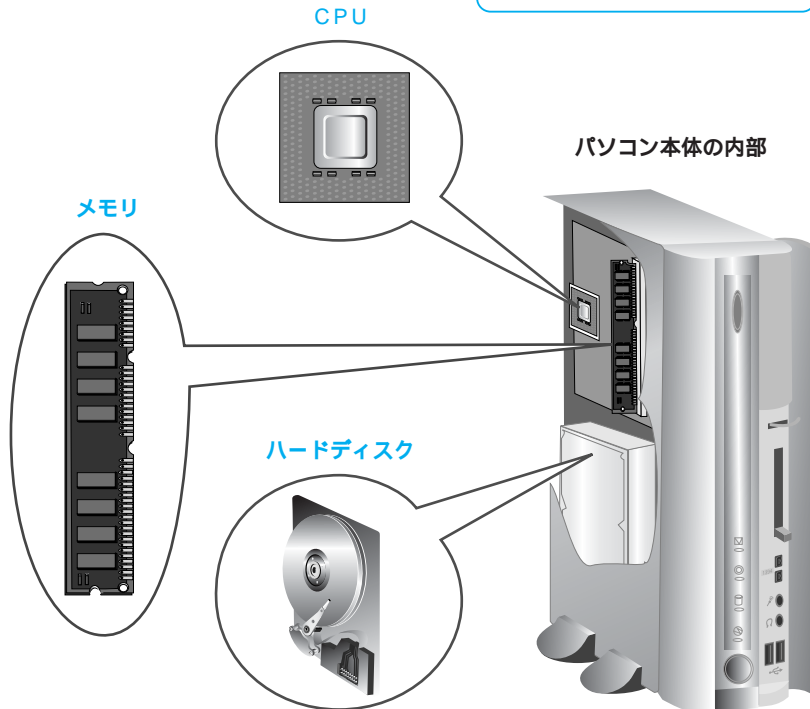
メモリのこと

デジカメで撮った写真を、パソコンで見ようとすると、それがまずメモリという記憶装置に記憶され、それから画面上に表示されます。このメモリの記憶容量が大きいと、それだけ多くの写真が記憶され速く表示されます。したがって、速く加工することができます。

逆に、メモリの記憶容量が小さいと、写真の一部だけがメモリに記憶され、残りはハードディスクに記憶されます。したがって、それだけ遅く表示されます。

このメモリが、どれだけのデータ(写真)を記憶できるかという単位をMB(メガバイト)といいます。最低でも128MB、理想的には256MB以上のメモリが搭載されたパソコンを選びましょう。なお、すでにパソコンを持っていて、そのパソコンのメモリを増やしたい場合はAPPENDIXを参照してください。

ここでは、デスクトップパソコンをサンプルにしていますが、ノートパソコンの選び方も同じです。



ハードディスクというのは、写真などのデータを記憶する装置の1つです。

HELP

パソコンによっては、インテル社製以外のCPUが搭載されている場合があります。例えば、AMD社のDuron(ジュロン)やAthlon(アスロン)などです。この場合には、DuronよりAthlonが高性能で高速です。したがって、Athlonが搭載されたパソコンを選びましょう。



PCカードスロット

デジタルカメラで撮った写真は、デジタルカメラの中に入っている**メモ리카ード**に記録されます。このメモ리카ードには、**コンパクトフラッシュ**、**スマートメディア**、**SDメモ리카ード**、**メモリースティック**などがあります。このうち、コンパクトフラッシュ、スマートメディア、SDメモ리카ードは**ソニー製以外**のデジタルカメラで使われ、メモリースティックはソニー製のデジタルカメラで使われています。

したがって、ここではコンパクトフラッシュ、スマートメディア、SDメモ리카ードに記憶されている写真をパソコンに取り込むときに使う**PCカードスロット**について説明します。メモリースティックを使っている方は、以下の「メモリースティックスロット」を読んでください。

さて、私たちがコンパクトフラッシュ、スマートメディア、SDメモ리카ードの写真をパソコンに取り込むときは、これらのメモ리카ードを**PCカードアダプタ**に差し込んで、それをパソコン本体のPCカードスロットに差し込んで取り込みます。

したがって、コンパクトフラッシュ、スマートメディア、SDメモ리카ードを使っている人はPCカードスロットが搭載されたパソコンを選びましょう。



メモリースティックスロット

ソニー製のデジタルカメラではメモリースティックを使っています。このメモリースティックの写真はパソコンに取り込むには、メモリースティックをパソコン本体のメモリースティックスロットに差し込んで取り込みます。

ソニー製のパソコンには、標準としてメモリースティックスロットが搭載されています。したがって、これからパソコンを用意するのなら、ソニー製のパソコンを選びましょう。



デジタルカメラで撮った写真はメモリカードに記録されます。

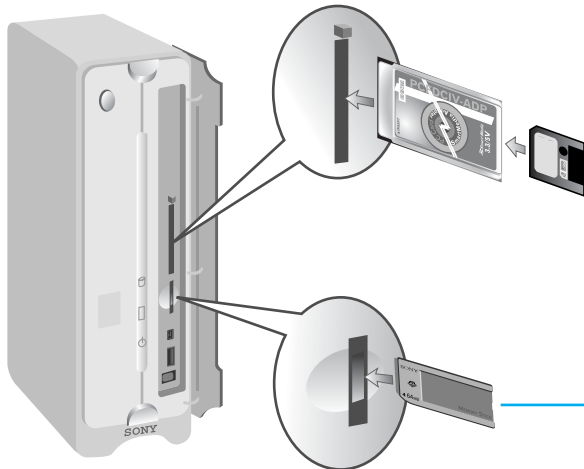
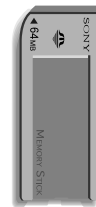
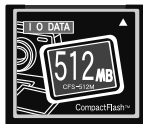
メモリカード

コンパクトフラッシュ

スマートメディア

SDメモリカード

メモリースティック



メモリカードをPCカードアダプタに差し込んで、それをPCカードスロットに差し込みます。

メモリースティックの場合は、そのままメモリースティックスロットに差し込みます。

HELP

すでにパソコンを持っていて、PCカードスロットやメモリースティックスロットが搭載されていない場合は、パソコンにリーダ/ライタを接続して、それを使ってメモリカードの写真を取り込みます。この方法はSTEP 24で説明します。



リーダ/ライタ

あなたのデジタルカメラは大丈夫？

あなたは、すでにデジタルカメラを持っています。そして、あなたの用途にあったデジタルカメラを持っているはずですが、本当にあなたの用途にあっているのでしょうか。ここでは、あなたの用途にあっているかどうかを確認する方法を説明します。



画素数の確認

デジタルカメラで撮った写真は、レンズを通して、CCD(Charge Coupled Device)という装置に到達します。そして、写真は、このCCDを通してメモリーカードに記録されます。そういう意味で、メモリーカードはフィルムカメラのフィルムに相当します。

さて、この写真は、小さな点々の集まりで成り立ち、この点を**画素**とか**ピクセル**といいます。1枚の写真の画素の数が200万個あるものを**200万画素のデジタルカメラ**といい、300万個あるものを**300万画素のデジタルカメラ**といいます。したがって、200万画素のデジタルカメラより、300万画素のデジタルカメラの方がきれいな写真を撮ることができます。

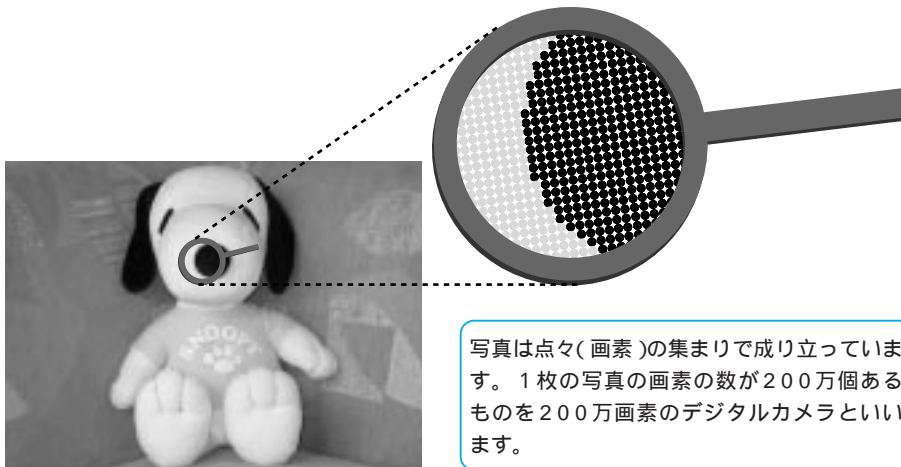
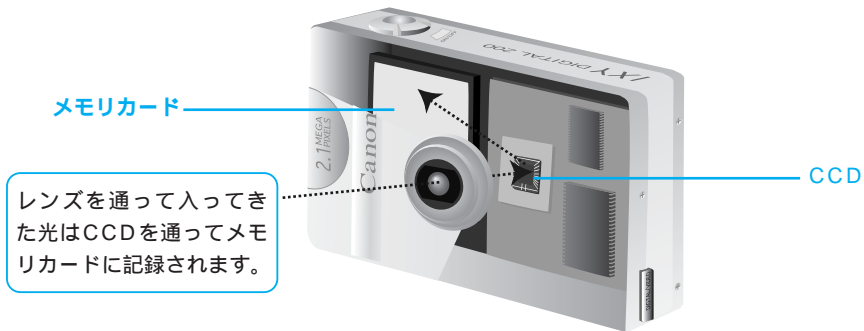
さて、あなたがホームページ用の写真を撮りたい場合は、画素数の少ないデジタルカメラ、例えば約80万画素のデジタルカメラで大丈夫です。というのは、ホームページでは写真を高速に表示させなければなりません。この高速に表示させるには、画素数が少ない方がいいのです。

また、あなたが記念写真のようにアルバム用の写真を撮りたい場合は、画素数の大きいデジタルカメラがいいでしょう。例えば、200万画素以上のデジタルカメラであればきれいな写真を撮ることができます。

さて、ここで写真の大きさと画素数の関係について、少し詳しい話をしておきます。

まず、あなたがハガキ(100mm×148mm)の大きさの写真を撮る場合は200万画素で十分です。このように小さい写真の場合は、200万画素も300万画素もあまり違いはありません。けれども、2L版(127mm×178mm)の大きさの写真を撮る場合は300万画素がいいでしょう。ある程度大きくなると、200万画素ではぼけてしまいます。この写真の大きさと画素数の関係は右の表を参考にしてください。

デジタルカメラの内部



[写真の大きさと画素数の関係]

大きさ	画素数
L版	150万画素
ハガキ	200万画素
2L版	300万画素
B5	650万画素
A4	870万画素

STEP 2 あなたのデジタルカメラは大丈夫？

光学ズームの確認

山の風景など、被写体が遠くにあり、それを拡大して撮りたいときはズームを使います。デジタルカメラのズームには、**光学ズーム**と**デジタルズーム**があります。このうち、光学ズームは、レンズを前後に動かすことによって被写体をアップにします。また、デジタルズームは、CCDに映った画像を拡大します。CCDに映った画像の画素数は一定ですから、それを拡大すると、画素の大きさが大きくなり、ぼやけたようになります。したがって、通常はデジタルズームを使うことはありません。

さて、そういうことで、通常は光学ズームを使いますが、この光学ズームには、2倍から6倍というようにあり、あなたが遠くの写真をアップで撮ることが多い場合は、この倍率の大きいカメラがいいでしょう。



写真の画質とメモリカードの容量

例えば、あなたが300万画素のデジタルカメラを持っているとします。このデジタルカメラを使って、そのまま300万画素の画質の写真を撮ったり、それ以下に画質を落として写真を撮ることができます。

せっかく300万画素のカメラを買ったのに、なぜ画質を落とすのかというと、その方が1枚のメモリカードに多くの写真を保存できるからです。また、ホームページに写真を貼り付けるときに画質の低い写真の方が高速に表示されることもあります。

そういうことで、あなたは写真を撮るときに画質を選んで撮ることができます。この画質には**ファイン**と**ノーマル**があります。デジタルカメラによってはスーパーファイン、ファイン、ノーマルというものもあります。

まず、ファインというのは、300万画素のデジタルカメラの場合には、300万画素の画質のことです。また、400万画素のデジタルカメラの場合は400万画素の画質のことです。

これに対して、ノーマルというのは、それ以下の画質のことです。例えば、300万画素のデジタルカメラの場合には、200万画素で保存するというようにです。このノーマルの画質はデジタルカメラによって異なります。

さて、ここで、あなたがメモリカードを買うときは、その画質とメモリカードの容量が気になるところでしょう。この画質とメモリカードの容量は、右の表を参考にしてください。右の表の見方を説明しておきます。例えば、あなたが300万画素のデジタルカメラを持っているとして、32MBのメモリカードでは、ファインの写真では25枚、ノーマルでは53枚記録することができます。このことを参考にメモリカードを選んでください。



CCDに写った映像を拡大してズームを調整するのがデジタルズームです。

このレンズを前後に動かすことによってズームを調整するのが光学ズームです。

【ファインで撮影】



【ノーマルで撮影】



同じデジタルカメラでも、画質を落とすとぼけたようになります。

[メモリカードの容量と標準撮影枚数の関係]

	8 MB		16 MB		32 MB		64 MB		128 MB	
	ファイン	ノーマル	ファイン	ノーマル	ファイン	ノーマル	ファイン	ノーマル	ファイン	ノーマル
100万画素	12	25	25	49	50	99	101	198	204	398
200万画素	10	19	20	39	41	79	82	159	166	319
300万画素	6	13	12	26	25	53	50	107	102	215
400万画素	4	9	8	19	18	38	36	77	74	156

撮影枚数は、デジカメの機種によって多少異なります。

パソコンに 写真を取り込む道具は？

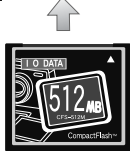
これまでの説明で、あなたはデジカメの写真をパソコンに取り込める良いパソコンを持っています。また、あなたの用途にあったデジカメも持っているはず。ここでは、そんなパソコンにデジカメの写真をコピーするのに必要な道具を用意しましょう。



PCカードスロットを使う

まず、あなたのパソコンにPCカードスロットが搭載されている場合から説明します。デジカメの写真をパソコンにコピーする(取り込む)には、デジカメのメモリカードをパソコンに差し込まなければなりません。このメモリカードをパソコンに差し込むときに使うのが、**PCカードアダプタ**です。

PCカードアダプタは、メモリカードによって異なります。以下のように、メモリカードに対応したPCカードアダプタを買ってください。なお、メモリカードに付属している場合は買う必要はありません。



コンパクトフラッシュ



スマートメディア



SDメモリカード



メモリースティックスロットを使う

今度は、あなたのパソコンにメモリースティックスロットが搭載されている場合を説明しましょう。あなたのデジカメのメモリカードがメモリースティックの場合は、何も必要ありません。そのままパソコンにメモリースティックを差し込んで写真をコピーすることができます。

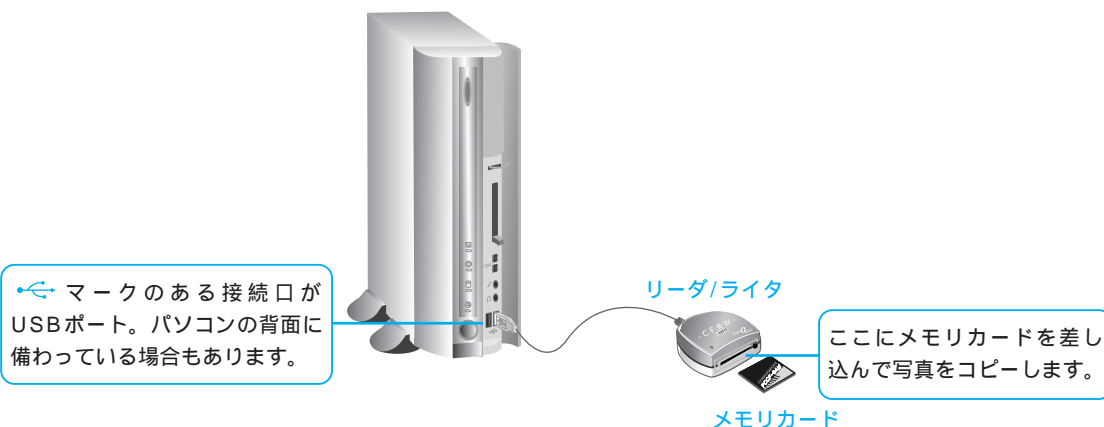
HELP

ここで紹介した道具以外にも、フロッピーディスクアダプタがあります。これは、メモリカードをフロッピーディスクアダプタに差し込んで、それをフロッピードライブに差し込んでコピーするものです。しかし、この方法では、写真をコピーするのに大変時間がかかります。したがって、現在ではあまり使う人はいないので、ここでは取り上げませんでした。



リーダ/ライタを使う

あなたのパソコンに、PCカードスロットもメモリースティックスロットも備っていない場合は**リーダ/ライタ**を使いましょう。非常に高速にコピーすることができます。なお、このリーダ/ライタはパソコンの**USBポート**に接続します。したがって、まずあなたのパソコンにUSBポートが備わっているか確認してください。



あなたのパソコンにUSBポートが備わっていたら、リーダ/ライタを用意しましょう。このリーダ/ライタは、メモリカードによって異なり、**コンパクトフラッシュ・リーダ/ライタ**、**スマートメディア・リーダ/ライタ**、**SDメモリカード・リーダ/ライタ**、**メモリースティック・リーダ/ライタ**に分かれます。あなたのメモリカードに対応したものを用意してください。

↑ STEP UP ↑

デジカメの写真をパソコンにコピーするには、デジカメとパソコンをケーブルで接続してコピーする方法もあります。多くの場合、このケーブルや他の必要な道具はデジカメに付属しています。したがって、ここでは取り上げませんでした。

おすすめのプリンタは？

デジカメで撮った写真をプリントする方法としては、写真店でプリントしてもらい、インターネットで注文する、などの方法もありますが、なんといってもいちばん手軽なのは、自分でプリンタを使って印刷する方法です。ここでは、デジカメの写真を印刷するのに最適なプリンタを紹介しましょう。



プリンタの選び方

プリンタには、**レーザープリンタ**と**インクジェットプリンタ**があります。大量に印刷したい場合には、高速印刷を得意とするレーザープリンタが適していますが、カラーのレーザープリンタは大変高価です。そこで、個人でデジカメの写真を印刷する場合には、インクジェットプリンタを準備するのが一般的です。したがって、ここではインクジェットプリンタの選び方を説明しましょう。

あなたがパソコンショップにインクジェットプリンタを買いに行くと、プリンタの説明書に「このプリンタは1000dpi(ディーピーアイ)で印刷できます」とか「このプリンタは1200dpiで印刷できます」というように表記されています。

プリンタで印刷される写真は、小さな点々で印刷され、この点をドットといいます。そして、1インチ(2.54cm)当たり1000ドットで印刷できることを1000dpi(dot per inch)といいます。したがって、このドットの数が多いほどドットが小さくなり、きれいな写真が印刷されます。

以上から、予算が許す限りドットの数が多いプリンタを選びましょう。

【ドットの少ない写真】



【ドットの多い写真】



ドットの多い方がきれいです。

また、プリンタには、パソコン本体のUSBポートに接続するプリンタとパラレルポートに接続するプリンタがあります。USBポートに接続するプリンタのほうがパソコンとの接続が簡単なので、**USBポートに接続するプリンタをお勧めします**。そして、プリンタといっしょに**プリンタケーブル**を買うことも忘れないでください。

HELP

USBポートというのは、パソコン本体の右の形をした接続口です。



インクカートリッジの選び方

プリンタを買うときは、インクカートリッジを買わなければなりません。ここではインクカートリッジの買い方を説明します。

インクジェットプリンタは、通常、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4色を組み合わせてさまざまな色を作り出します。プリンタによっては、この4色にライトシアン、ライトマゼンタの2色を加えたり、さらにダークイエローを加えて7色で印刷する場合があります。

このように、プリンタごとに使用するインクの色の数が異なりますから、あなたのプリンタに対応したものを選んでください。



用紙の選び方

デジカメの写真をきれいに印刷するには、写真印刷用の専用紙を使うことをお勧めします。専用紙はメーカーによって呼び名が異なりますが、用途に **写真の印刷用** と書いてあれば大丈夫です。光沢タイプとツヤなしタイプがあり、フィルムカメラの写真と同じような美しさを出します。用途や予算に合わせて選んでください。

また、写真をシールに印刷できるフォトシール紙や、布製品に写真を転写できるアイロンプリント紙などもあります。

↑ STEP UP ↑

右のプリンタのように、メモ리카ード(コンパクトフラッシュカード・SDメモ리카ード・メモリースティック・スマートメディア)を直接差し込むだけで、デジカメで撮った写真を印刷できるものもあります。



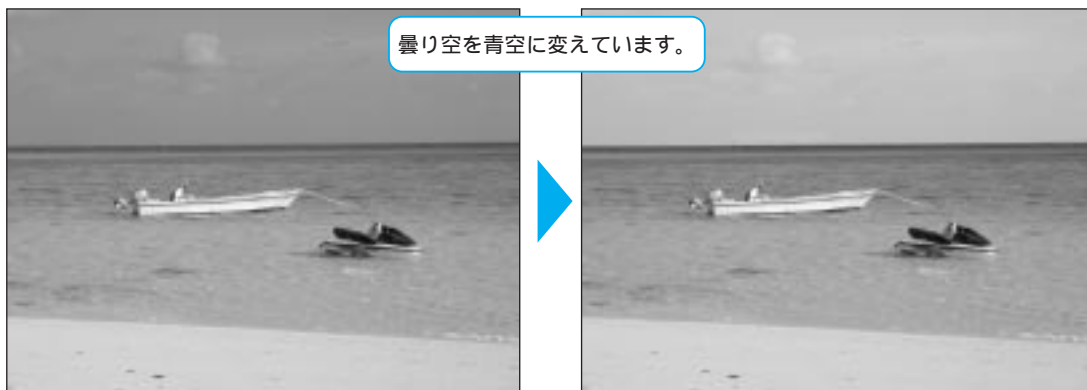
おすすめのレタッチソフトは？

デジカメで撮った写真のピンぼけを直したり、曇り空を青空に直したりするにはレタッチソフトが必要です。ここでは、レタッチソフトの選び方を説明しましょう。



レタッチソフトでできること

撮った写真を見てみたら、ピンぼけに写っていて、がっかりした経験はありませんか。デジカメで撮った写真なら、レタッチソフトを使って、失敗写真を満足のいく写真に変身させることができます。また、何枚かの写真を組み合わせて合成写真を作ったり、写真を絵のように変化させて楽しむこともできます。



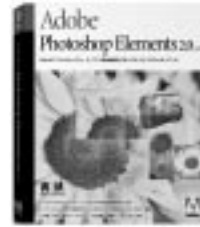


レタッチソフトを選ぶ

十分な機能と使いやすさを備えたレタッチソフトには、**Adobe Photoshop Elements** (アドビ フォトショップ エレメンツ)と**Paint Shop Pro**(ペイント ショップ プロ)があります。デジカメで撮った写真をパソコンで加工したいと思ったら、このどちらかのソフトを用意することをお勧めします。それぞれの特徴は以下の通りです。

Adobe Photoshop Elements

グラフィックソフトで定評のあるアドビシステムズ社によって、開発・発売されています。プロ向けのレタッチソフトとして圧倒的な人気があるAdobe Photoshop(アドビ フォトショップ)を一般の人向けにしたものです。したがって、さまざまな画像処理機能が充実しています。



Paint Shop Pro

アメリカのJasc Software社によって開発され、日本のピーアンドエー社から発売されています。自動写真修正機能 など、初心者でも簡単にプロの画像処理技術を使えるようになっています。



この本では、第7章で実際に、Photoshop Elementsを使って写真を加工する方法を説明しています。



レタッチソフトを使ってできること

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ピンぼけを直す | 写真の一部を別のものに変える |
| 写真の一部を拡大する | 写真の一部を縮小する |
| 一部の色を変える | 全体の色調を変える |
| 余計なものを消す | なかったものを加える |
| 写真にフレームをつける | 写真に文字を入れる |
| 写真を使ってポストカードやカレンダーを作る | |

Q&A

今までのカメラとデジタルカメラの違いは？

Q

デジカメをとりあえず買って見たのですが、今までのカメラとどう違うのかがよくわかりません。デジカメと今までのカメラの違いをわかりやすく説明してください。

A

わかりました。フィルムカメラとデジカメの違いを説明します。最初は、初歩的な説明をし、少しずつ実用的な説明に進みます。

今までのフィルムカメラには、通常、電源を入れるスイッチはありませんが、デジカメにはスイッチがあります。したがって、あなたがデジカメを使うときは、まずスイッチを入れなければなりません。

今までのフィルムカメラで写真を撮るとフィルムに記録されます。デジカメで写真を撮るとメモリカードに記録されます。

フィルムカメラで撮った写真は、写真店やDPEサービス業者に依頼して写真にしてもらいます。デジカメで撮った写真はプリンタで印刷します。ただし、写真店やDPEサービス業者に依頼して写真にってもらうこともできます。

フィルムカメラで撮った写真はフィルムに記録されるため、数年過ぎると写真が変色します。デジカメで撮った写真は電気信号に変換されてメモリカードに記録されるため、何年過ぎても変色することはありません。

フィルムカメラでは、撮った写真は消して撮り直すことはできません。デジカメで撮った写真は、背面の液晶モニターで見て、気に入らなければ消して撮り直すことができます。

その他、デジカメで撮った写真はCDにコピーして保存したり、思いついたときに何枚でも無料(インク代は必要)で印刷することができます。